## 再評価結果 (平成20年度事業継続箇所)

担<u>当課:道路局地方道·環境課</u>担当課長名:徳山 日出男

JIZ		1 1112		VIV	
事業名	地域高規格道路。徳島環状道路。	事業	1	事業	· ·
	主要地方道 徳島環状線(国府工区)	区分	地方道	主体	徳島県
	工女地力但 心面缘小林(巴州工区)		1		I
	とくしま こくふ かんおんじ				i
起終点	¦ 自:徳島県徳島市国府町観音寺			延長	¦
					!
	とくしま こくぶ いけじり 至:徳島県徳島市国府町池尻				1. 5 km
ᆂᄴᄱᄑ	<u> 主:偲岛乐偲岛中国府可心仇</u>				II. 5 KIII
事業概要					
主要地	!方道徳島環状線は、徳島市国府町を起点とし、徳島	市八万	町に至る、延長約	2 5 km	nの主要幹線道路で
ある。国	府工区は、四国縦貫道・横断道・国道192号徳島	有環状道	首路と共に地域高:	<b>規格道</b> 品	各「徳島環状道路」
た形成し	、地域の連携強化を図り、慢性的な徳島市内の渋滞	た級沿	一 猫自市及が日		の交通田温化に答
		<b>飞州</b> 和	し、心局中及いた	112161	(0) 又进门消记[5]
する基野	的な社会基盤である。				
H 5 年度					年度工事着手
全体事業	雲費 は 2 4 0 億円 事業進捗率	!	58% 供用済延	長	: 一般部1.5km
計画交通	量 20,100台/日(自専部			(一般音	
費用対象	B	松	更 <u>益 」 (残</u> 事業)/(事業)	<u>ヽ パスロ</u> みは\	基準年_」
		100		±∤₽/ /┷╾┎┰┓	李芒士
分析結果		_ \	140/485		
		円川徒	行時間短縮便益: 112	/387億円	│ 平成19年 │
	( 陳業) 3. O	円川走		/ 75億円	
				/ 23億円	
良在ハギ		<u> </u>	四字以/以少 (文章 ) 10	/ 4018门	<i>/</i>
您及刀划	「の結果」」」「事業全体について感度分析を実施。	٠ <u>٠</u> ـ	NZ E 4000		
	交通量変動: B/C=1.9 (交通量-10%) B/C=2	. 2(交	通 量+10%)		
	事業費変動: B/C=1.8 (事業費+10%) B/C=2	. 2 (事	業 費-10%)		
	事業期間変動: B/C=1.9 (事業期間+10%) B/C=2	2 (重	業期間−10%)		
事業の效	<u> テネタ川町久切・5/ 5-1. 5 (デネ河川・10/// 5-1/ 5-1</u> / 0-2 1里笙	<u>- \于</u>	<b>▼/</b> //		
津番線数	] 朱守 [李] [[7] [[李] [[本]] [[李] [[李] [[李] [[李] [[李] [[	+ /->			
	モビリティの確保(渋滞損失解消時間488.5千人				
Ⅰ・国土・	地域ネットワークの構築(地域高規格道路に位置	づけら	れている。平成	7年4	月)
					他7項目に該当
関係する	地方公共団体等の意見	1			10 / 70 1-15
전투 기 점	14. 光内,在一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个一个	±#	10.411 4	レヘムフ	
	状道路建設促進期成同盟会が設立され、徳島環状線	の整備	促進について、税	ほ会ある	っことに国及ひ関係
機関に対して積極的な要望活動が続けられている。					
事業採択	は時より再評価実施時までの周辺環境変化等	ı			
徳島環状線国府工区が接続する(主)徳島鴨島線における交通渋滞はますます深刻化している。					
応西珠八峽區所工區が15位(工) 応西福西峡に0317 の大地湾(mis & ) & ) が次にしている。					
<b>事業の光地小児 時事業の中央</b> 位					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地買収は完了しており、一般道路部を平成20年3月に供用開始。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
主会ジス	線高架橋工事については、徳島外環状道路全体の進	性な助	安しかがこ羊手時	曲太油	후 궁 Z
がる中	一般同木恂工争に ノいては、18577界仏坦昀王仲の進	沙で刨	<b>采しなかり</b> 個士时	州で入	足りる。
<b>长到 6 株外 1. 三头 6 木 三族</b>					
施設の積	造や工法の変更等				
本線高架橋の構造形式を検討し、コスト縮減を図る。					
対応方針	- 事業継続				
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
凶心力型	決定の理由			1. =	
以上	の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要	性は変	わらないと考えら	れる。	
事業概要	図		~		
1	板即に 横原に		$\langle A \rangle$		
( 「					
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·					
			■今臺/ /		
			_ 🛊 🎍 📗		
	第192号		<b>三</b>		
			- ■		
	上= 1. 写 hm	2	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
					<del></del>
	The state of the s	≉	FL/91		
				用中	
				F集中 受押をスペー	r>
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		<b>m</b>			<u> </u>
※ 総費用	1、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を	・曲いて	基準年の価値に	関見し	冬計したも())。